

安達太良山の火山活動解説資料（平成28年2月）

仙台管区气象台
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・噴気など表面現象の状況（図1、図2-①）

若宮に設置している遠望カメラによる観測では、沼ノ平火口からの噴気の高さは噴気孔から概ね40m以下で、噴気活動は低調に経過しました。

・地震や微動の発生状況（図2-②～④）

火山性地震は少ない状態で経過しました。
火山性微動は観測されませんでした。

・地殻変動の状況（図3、図5）

火山活動によると考えられる変化は認められませんでした。



図1 安達太良山 沼ノ平火口周辺の状況（2月8日）

- ・若宮（沼ノ平火口の西北西約8km）に設置している遠望カメラの映像です。
- ・実線赤丸で囲んだ部分が、沼ノ平火口からの白色噴気で高さは40mです。

この火山活動解説資料は、仙台管区気象台のホームページ（<http://www.jma-net.go.jp/sendai/>）や、気象庁ホームページ（<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成28年3月分）は平成28年4月8日に発表する予定です。

この資料は気象庁のほか、国土地理院、東北大学のデータを利用して作成しています。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図50mメッシュ（標高）」を使用しています（承認番号 平26情使、第578号）。

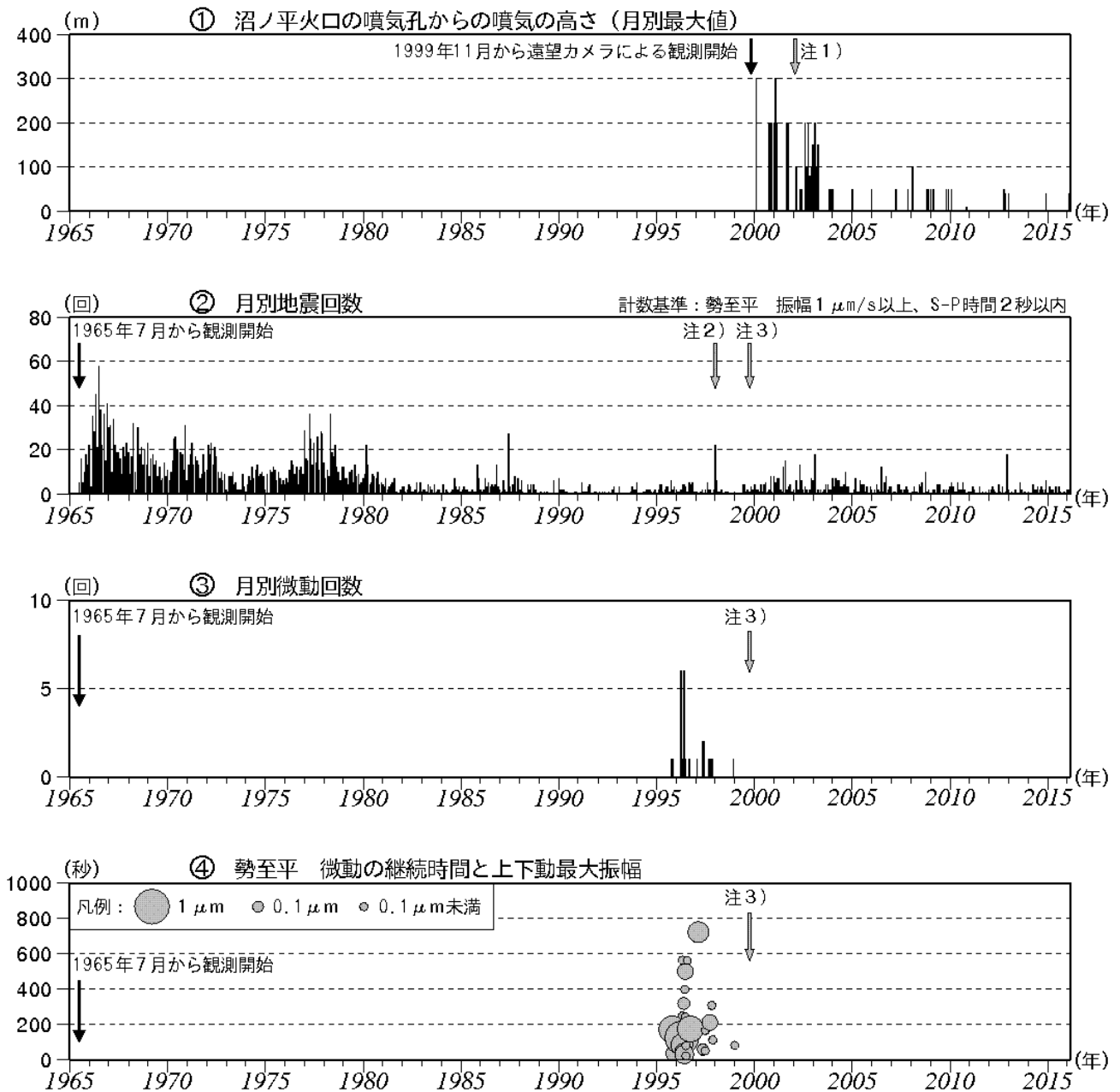


図2 安達太良山 火山活動経過図（1965年7月～2016年2月）

- ・①注1) 2002年2月以前は定時（09時、15時）及び随時観測による高さ、2002年3月以降は24時間観測による高さです。
- ・②注2) 1998年より計数基準をS-P5秒以内からS-P2秒以内に変更しました。
- ・②～④注3) 1999年10月に基準観測点を塩沢観測点（沼ノ平火口から東北東約6km）から新設した勢至平観測点（沼ノ平火口から東北東約3km）に変更しました。

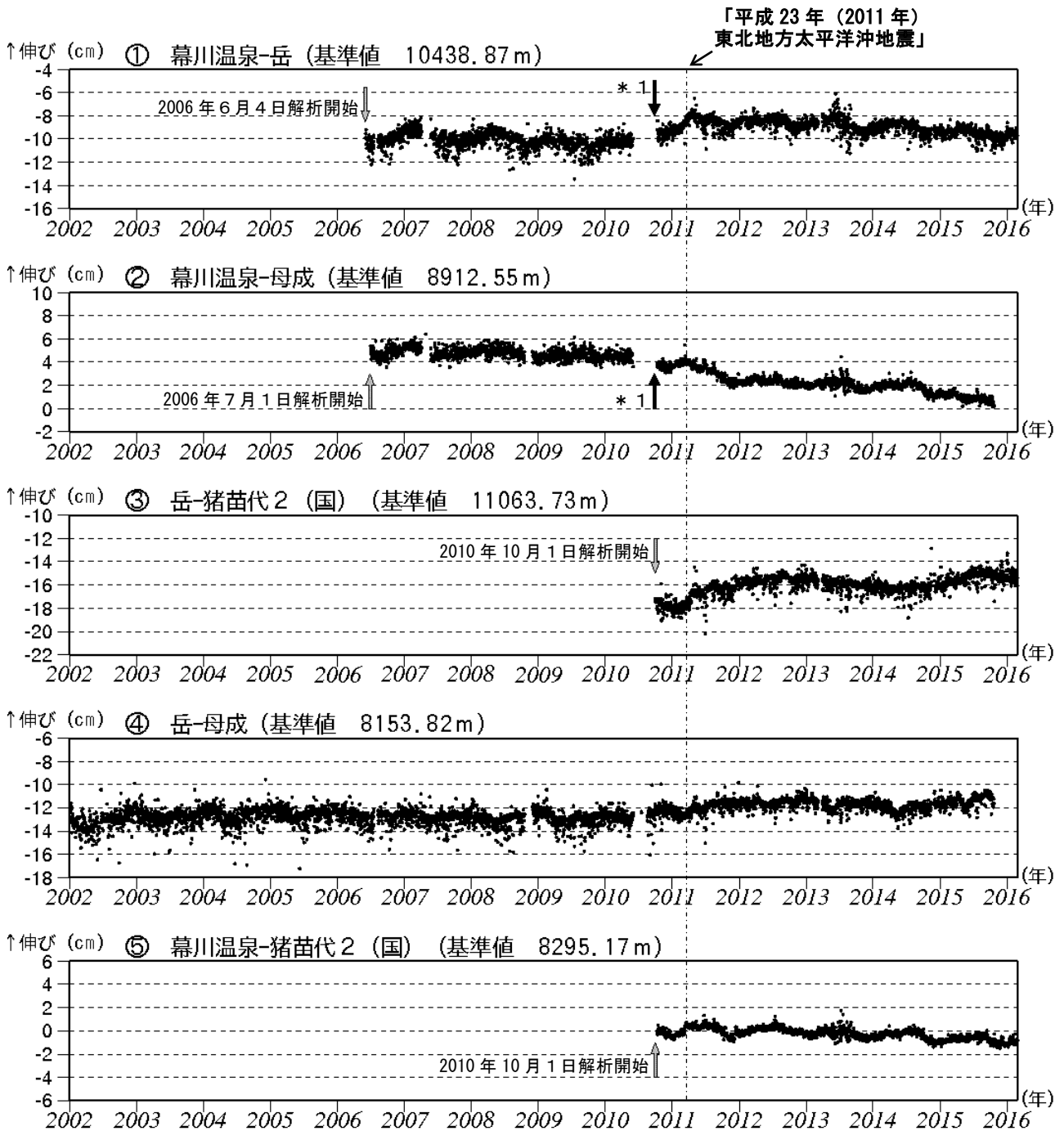


図3 安達太良山 GNSS¹⁾ 基線長変化図 (2002年1月～2016年2月)

1) GNSS (Global Navigation Satellite Systems) とは、GPSをはじめとする衛星測位システム全般を示す呼称です。

- ・今期間は火山活動によると考えられる変化は認められませんでした。
- ・2010年10月以降のデータについては、電離層の影響を補正する等、解析方法を改良しています。
- ・「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」に伴うステップを補正しています。
- ・①～⑤は図5のGNSS基線①～⑤に対応しています。
- ・グラフの空白部分は欠測を表しています。
- ・各基線の基準値は補正等により変更する場合があります。

* 1 : 幕川温泉観測点の機器を更新しました。

(国) : 国土地理院



図 4 安達太良山 観測点配置図

小さな白丸（○）は気象庁、小さな黒丸（●）は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。

（東）：東北大学

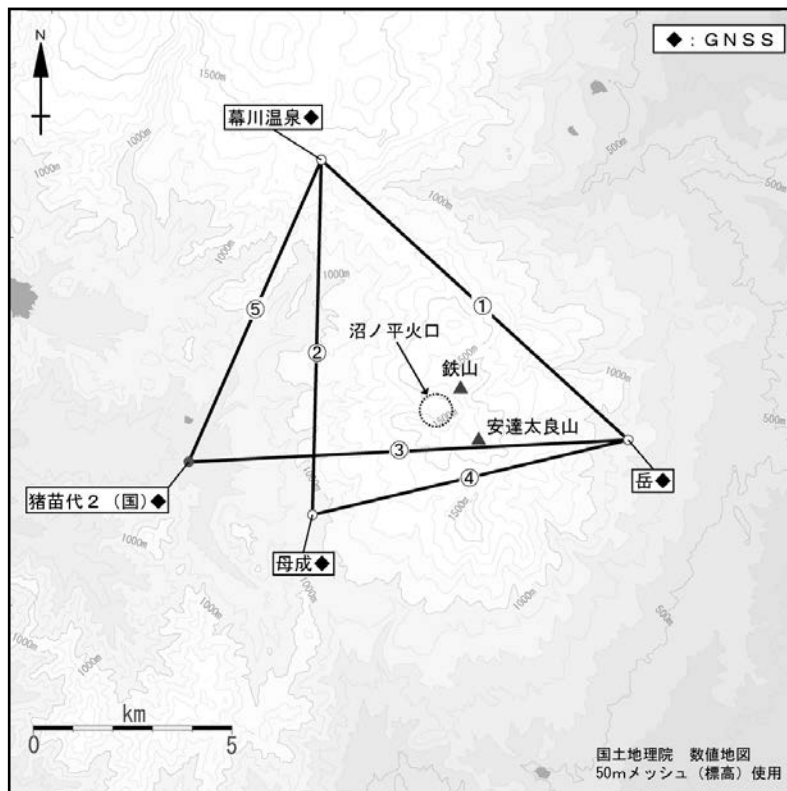


図 5 安達太良山 GNSS 観測点配置図

小さな白丸（○）は気象庁、小さな黒丸（●）は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。

（国）：国土地理院